

日本女子大学大学院文学研究科

紀要

第27号

日尾荊山判『七拾六番歌合』翻刻と解題 ……… 福田安典・時田紗緒里・都築里花子・堀万佑子・大崎園夏・小澤桃子……… 1	近世の地方における芸能活動 ――『矢口家丹波正日記』から―― …… 時田紗緒里……… 13	太宰治「正義と微笑」の再検討 ――戦時下に置き戻して―― …… 片木晶子……… 25	醍醐寺義演准後の教学活動 ――毎月論義再興に見る義演の「古義」・「新義」認識―― …… 姜錫正……… 41	醍醐寺僧と根来寺僧の交流とその変容 ……… 佐藤亜莉華……… 59	ジョージ・オーウェル「イギリス料理」(1946年) 試訳と注解 ……… 川端康雄・熊谷由里子……… 1	ブリストル三部作における政治の不在／不在の政治学 ――カーター、レイン、リフトン―― …… 奥畑豊……… 25	課題達成談話における提案場面での言語行為 ――日本語母語話者の教師・学生のやり取りに焦点を当てて―― …… 新家理沙……… 43	令和二年度大学院文学研究科学位論文・修了論文題目・研究主題一覧 ……… 55
--	--	---	--	--------------------------------------	--	--	---	---

令和2年
日本女子大学

日本女子大学大学院文学研究科

紀要
第27号

令和二年

JOURNAL
of
The Graduate School of Humanities
27

George Orwell's "British Cookery" (1946): Japanese Translation and Notes ……… KAWABATA Yasuo and KUMAGAI Yuriko……… 1	The Absence of Politics / the Politics of Absence in the Bristol Trilogy: Carter, Laing, and Lifton ……… OKUHATA Yutaka……… 25	The Tendency of Japanese Teachers and Students' Suggestions in Task-based Interaction ……… SHINKE Lisa……… 43
Reprinting and bibliography of Hio Keizan's <i>Nanajuroku Uta-awase</i> ……… FUKUDA Yasunori, TOKITA Saori, …… 1 TSUZUKI Rikako, HORI Mayuko OHSAKI Sonoka and OZAWA Momoko		
Popular Performing Arts Activity in the Provinces in Early Modern Japan as Seen in the <i>Yaguchi-ke Tanba no Sho Nikki</i> [Diary of Tanba Masayoshi of the Yaguchi Family] ……… TOKITA Saori……… 13		
Dazai Osamu's "Justice and Smiles" Revisited: Putting it Back in Wartime ……… KATAGI Akiko……… 25		
Doctrinal Activity of Gien Jugo of Daigo-ji Temple: Gien's Perception of the School of Traditional Teaching (Kogi) and the School of Reformed Teaching (Shingi) as Seen in the Revival of Monthly Debates on Doctrine ……… KANG Sukjung……… 41		
Exchanges Between Priests of Daigo-ji and Negoro-ji Temples and the Changing Nature of Their Contacts ……… SATO Arika……… 59		

2020
Japan Women's University

日本女子大学大学院文学研究科紀要

編集規定(抜粋)

- 1. 本紀要は、本研究科学生および修了者に対して、研究を発表する場を提供することを主たる目的とし、毎年三月に発行する。
- 2. 略
- 3. 本紀要に執筆できる者は、以下の通りとする。①本研究科在学生、②本研究科修士課程または博士課程前期修了者、後期課程の所定の年限以上在籍し所定の単位修得後に退学した者、本研究科において博士の学位を授与された者、③本研究科専攻教員。
- 4. 本紀要に掲載する論文は、単著・共著を問わない。ただし共著の場合は、執筆者の少なくとも1名が、本規定第3項に該当する者であること。
- 5. 論文の執筆者が、本規定第3項の①または②に該当する場合は、当該専攻による選考を経ること。
- 6・7. 略
- 8. 執筆者には抜刷40部を贈呈する。それ以上は、実費を本人負担とする。
- 9. 本紀要に掲載された論文等(書誌情報、画像情報、本文)の著作権(著作財産権、copyright)は執筆者に属するが、執筆者は本学リポジトリなどへ電子化し公共の利用に供すること、および、それに付随する複製権、公衆送信権の行使について日本女子大学に許諾する。

執筆要項

- 1. 原稿は、図表および注を含めて400字詰原稿用紙30～50枚とする。英文の場合はこれと同等の長さとする。
- 2. 原稿の紀要委員会への最終提出期限を10月末とする。
- 3. 原稿は、原則として横書きとする。ただし、日本文学および史学専攻においては縦書きとすることができる。
- 4. 原稿は、原則としてデジタルデータとプリントアウト2部を提出すること。デジタルデータには作成環境、氏名をテキスト形式で明記すること。(事故に備え、提出前にあらかじめ原稿のコピーを手元に保管しておくこと。)
- 5. 原稿には、英文タイトル、ローマ字氏名、所属および大学院修了年を明記すること。ただし、英文論文は、日本語タイトル、氏名を明記すること。
- 6. 原稿には、横書き和文700字程度の要旨と、英文による500語程度の要旨を、そして和文・英文ともにそれぞれ5語以内のキーワードを添付すること。
- 7. 図表は、本文とは別紙に書き,「図1」「表1」のように通し番号をつける。表の題名はその上部に、図と写真の題名は下部に書く。説明文はいずれも下部に書くこと。そして、本文の右余白に、表、図、写真の挿入箇所を指定しておくこと。
- 8. 校正は原則として再校までとし、著者が行う。

日本女子大学大学院文学研究科紀要 第27号

令和3年(2021) 3月15日 発行

編集委員 衣川隆生・鈴木喜和・黒子康弘
大塚千聖・小林かおり・松島彩華

発行者 日本女子大学
〒112-8681 東京都文京区目白台2-8-1
電話 03-3943-3131 (代表)

印刷 株式会社 秀 飯 舎
〒331-0058 埼玉県さいたま市西区飯田70
電話 048(624)1121